

環境報告書 2023 年度

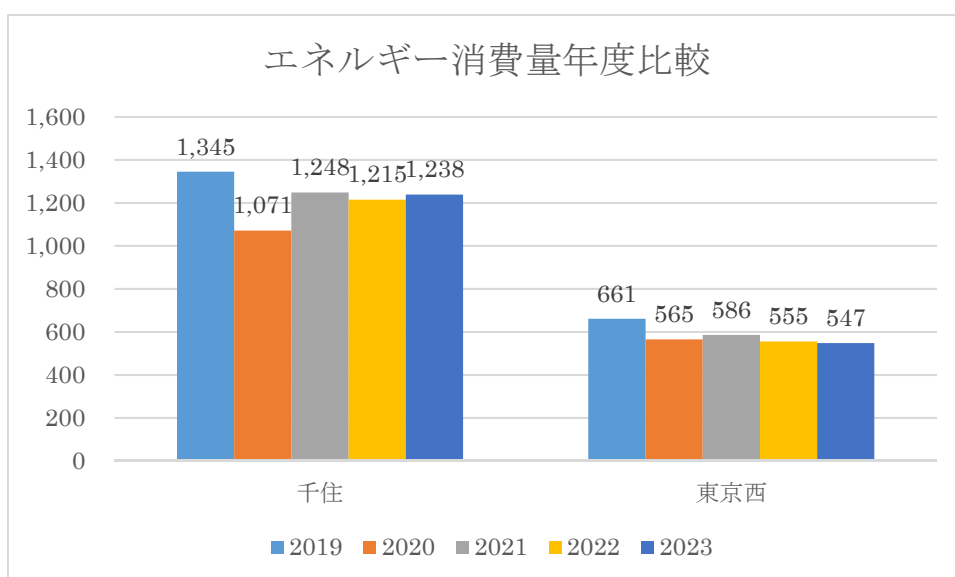
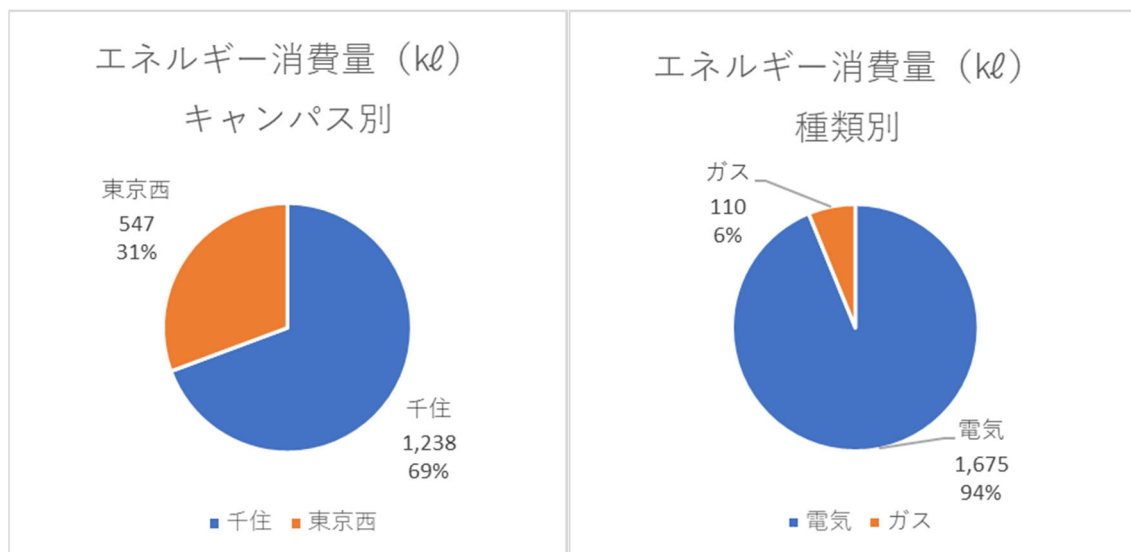
◆環境方針

本学は、「生命・環境」「医療」「教育」の三つをキーワードとして先端科学技術の教育・研究を推進し、21世紀の世界の持続的発展に貢献することを使命としている。環境問題が本学の教育・研究の課題の重要な一つであることから、環境への負荷の少ない、自然と調和したキャンパスの実現に努力すべきことは本学としての当然の責務であると考える。

このため、本学は、全学的に環境マネジメントシステム（EMS）を構築し、全学を挙げた継続的努力によりエコ・キャンパスの実現を期するとともに、以下の活動を通じて、地球環境の保全・改善に貢献することを目指す。

1. 教育活動、啓発活動を通じて地球環境の保全・改善に貢献するとともに、本学の教職員、学生、関係のある業者その他キャンパス内の全ての者に「環境を守る」という目的意識を持つよう求める。
2. 教育・研究等の諸活動において、環境に関連する法令、学内規則等を順守する。
3. 省資源・省エネルギー、化学物質の安全管理に取組み環境への負荷を低減するよう努める。
4. 環境目的及び目標を設けてその実現を図り、定期的に見直し環境マネジメントシステムの継続的改善に努める。

◆2023 年度エネルギー消費量（INPUT）



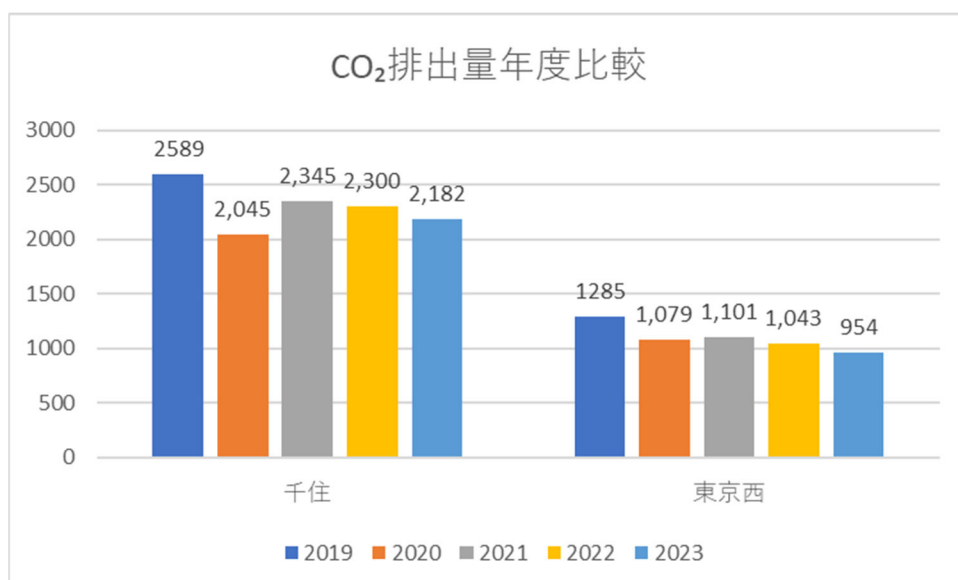
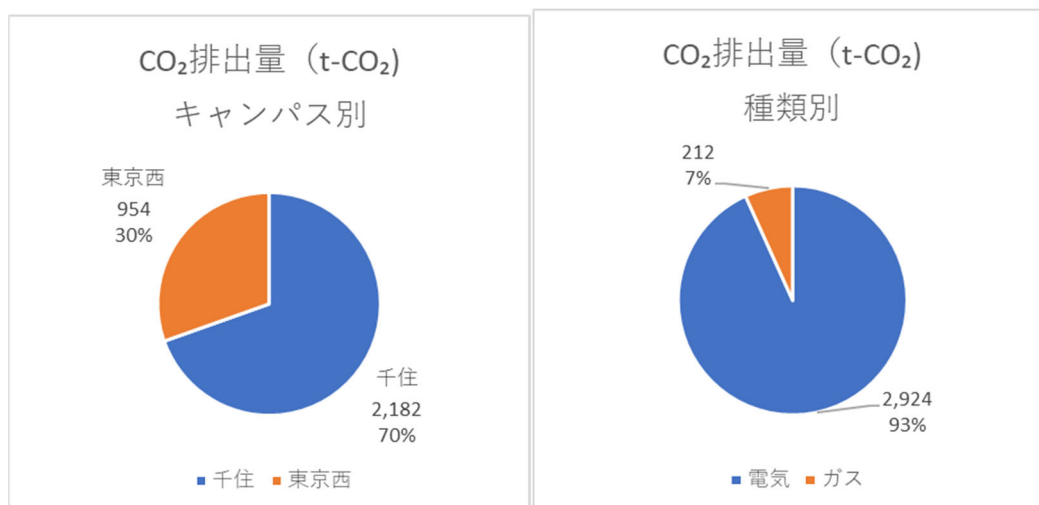
2023 年度は完全にコロナ禍前の平常活動となった。

2023 年度エネルギー消費量は両キャンパス合わせ 1,785kl に上り、2022 年度 1,770 と比べると 1%弱の増加となった。これは千住キャンパスにおいて夏季冬季の冷暖房需要が高まった気候要因によるものが大きい。

エネルギーの種類別にみると、電気が全体の 94%、残りの 6%をガスが占めており、千住本館の空調機の入替を 2 月に行いガスから電気への切り替えを行い次年度は更に電気の割合が高くなるものとみられる。

キャンパス別に消費量をみると、千住キャンパスが全体の 69%、東京西キャンパスが 31%という内訳となっており、例年ほぼ同じ比率となっている。

◆2023 年度排出量 (OUTPUT)



2023 年度の CO₂ 排出量は、3,136t-CO₂であった。コロナの影響により大幅に削減された 2020 年を除外しても年々削減傾向にあり、これは電気事業者の非化石燃料発電化が進むことで自動的に本学の CO₂ 削減が進んでいることが大きな要因である。

実際には本学の契約電力会社は非化石燃料による発電が進んでいることよりも非化石証明書を購入することで非化石比率を高めている状況である。

排出量の種類別にみると、電気が全体の 93%、残りの 7%をガスが占めている。また、キャンパス別にみると、エネルギー使用量同様に千住キャンパスが全体の 70%、ついで東京西キャンパスが 30%という内訳となっている。

◆再生可能エネルギー発電量

本学では、再生可能エネルギーの利用目的で、千住キャンパス7号館の屋上に太陽光パネルを設置している。2022年度は約4.7万kW、2023年度は6.8万kWの発電が行われた。上昇した要因は機器類の劣化は進んでいるものの設備員によるこまめな確認作業により故障・エラー等による発電停止期間が例年よりも短期間となり発電量の向上に繋がった。

◆環境教育

1年次については、新入生オリエンテーションにおいて初めての環境教育として、本学のEMS活動の経緯、EMS活動の内容、EMS活動の重要性、学生に望むことなどについて実施し、2年次以降については、各学科のオリエンテーションにおいて、本学の環境方針、目的・目標、EMS活動の取組みなどについて実施をしている。

【環境アクション5カ条】

1. 不要な照明やOA機器の電源を切ろう
2. 過度な冷暖房を控えよう
3. 節水を心がけよう
4. ゴミの分別廃棄を徹底しよう
5. 駐車時のアイドリングストップを心がけよう



4. 省資源・省エネルギーの状況

(1) エネルギー消費量について

千住キャンパスではコロナによる活動制限が解除されたことで学生活動が通常に戻ったことと異常気象による冷・暖房需要が強まり前年よりも消費量が増えた。しかしながらコロナ禍以前の2019年に対しては7.3%の使用量の削減となり通常体制においては削減が進められている。東京西キャンパスについては目標を達成できていることを確認した。

(2) CO₂排出量について

千住キャンパス、東京西キャンパスともに、目標を達成できていることを確認した。使用量が増加しているのに対し、CO₂排出量の削減が進んでいる背景は前述のとおり電力事業者による非化石化が進んでいるためである。

5. 環境教育訓練の実施状況

関係するすべての部署で一般教育が実施されていることを確認した。

◆次年度の目標

2024年度の目標として、エネルギーの使用の合理化等に関する法律に基づき、本学においてのエネルギー消費量及びCO₂排出量を前年度の目標値から1%削減をした値を目標とする。前年度の目標値から1%削減をした値をエネルギー消費量1,767kℓ、CO₂排出量を3,104t-CO₂と定めた。引き続きEMS、環境教育の実施により、環境を守る意識を高め、目標達成及び環境保全・改善に努める。